

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十二年五月



拝啓 薫風頬うつ楽しい陽気となりました。皆様、今年のゴールデンウィークはいかがお過ごしだったでしょうか。

連休後の5月9日(日)、東京は北区王子の北ピア、飛鳥ホールにおいて「**臥龍梅を愉しむ会**」を開催いたしました。まずはそのご報告から。昨年に引き続き2回目となりますが、臥龍梅ファンの皆様の日頃のご愛顧にお応えしたいというのがこの会の主旨です。そのため、出来るだけリーズナブルな会費で愉しんでいただけるよう、会場もあえてホテルや宴会場を避け、割安の公共の会場を借りて従業員が上京して会場造りから準備いたしました。お食事もお出来合いのお料理ではなく、**竹政**さんという都内の割烹料亭に特別にお願いし、静岡にちなんだ素材を用いて日本酒と相性のよいお料理をお弁当にしてもらいました。お酒を注ぐグラスもこの日のために用意した特注品です。お酒はこの日の朝、蔵から車で運び込みましたが、何しろ高速代の割安政策の影響でどれだけ大渋滞するかわからないという状況ですので、静岡を朝6時15分に出発しました。すると案ずるより易しとはこのことで、9時過ぎには会場に到着できました。従業員一同、眠い目をこすりながら会場を設営しましたが、写真をご覧ください、広い飛鳥ホールが総勢200数十名の臥龍梅ファンで埋め尽くされました。これを見れば苦勞して準備した甲斐もあろうというものです。各テーブルには輸出用の純米大吟醸をはじめ四合壺を3本ずつ、ブースには愛山の純米大吟醸をはじめ1.8L壺を20本取り揃えましたが、終ってみれば720ml壺114本、1.8L壺20本、300ml壺12本、用意したお酒がすべてすっからかんになりました。誠に気持ちの良い飲みっぷりです。来賓諸氏を始め、あちこちで臥龍梅ほどの酒を飲んでも当たりはずれがなく美味しいと言うお褒めの言葉をいただき、嬉しく思いました。菅原杜氏も岩手から上京してご挨拶いたしました。挨拶だけでは物足りないと言うので、終了間際に**南部杜氏唄**を披露する場を設けたところ、やんやの大喝采を頂きました。杜氏も従業員も、こうして臥龍梅を飲んで喜んでいただくお客様のお顔を拝見することが何よりの励みになります。会場の大きさの都合で、お申し込みいただきながらやむなくお断りした皆様にはこの場を借りてお詫び申し上げます。来年も必ずや開催いたしますので、次回はお早めにお申し込み下さい。



ところで、岩手から嬉しい知らせが届きました。第92回南部杜氏自醸清酒鑑評会で上位に入賞したとのこと。紫波町長賞が頂けるとのことです。先ずはご報告申し上げます。

さて、今月は上記の**大吟醸 35 無濾過原酒**をご案内いたします。臥龍梅最高峰の味と香りをお早めにお試してください。

惜春の候、皆様にはますますお元気で過ごされんことを。

平成22年5月吉日

敬具

鈴木克昌